

【プログラム21：親の役割3か条 ～親の目・子の目～】

☆ねらい：思春期の子どもをもつ親の役割を考え、よりよい親子関係をつくっていかこうとする気持ちを育てる。

《プログラムの概要》

キーワードの例	親の役割3か条
時間	30分
人数	何人でもできる。
活動形態	グループ
準備物	付箋紙（1人15枚程度）、ワークシート（グループ数、使いやすい大きさに拡大して使用）
主な活動	①子どもの立場になって、「親とのかかわり方」について考える。 ②自分の経験を思い出す。 ③親の役割3か条を考える。 ④グループで考えたことを紹介する。
気を付けること	○「子どもにとって、やってほしいかかわりやあまりやってほしくないかかわり」を考えると、「自分と子ども」のかかわりでも、そうでなくてもよいという問いかけで活動を行った方が、多様な意見が期待できる。また、「自分と子ども」と限るより、考えを出しやすい雰囲気になる。
備考 (アレンジ等)	○付箋紙に個人が考えたことを書く個人の活動ではなく、模造紙（広用紙）にグループで考えた意見を書き出す方法もある。その場合は、分類ではなく、「色の印を付ける」等に変更するとよい。
他プログラムとの関連	スマイル（小学生期）編：No.18わが家で大切にしたいこと

【プログラム21：親の役割3か条～親の目・子の目～】

時間	形態	講座の流れ
1分	全体	<p>1. ねらいを確認する。 【1分】</p> <p>[キーワード] ○親の役割3か条</p>
27分	個人 グループ	<p>2. 子どもの立場になって、「親とのかかわり方」について考える。【10分】</p> <p>(1) 「子どもにとってやってほしいかかわり」と「子どもにとってあまりやってほしくないかかわり」について、思いっただけ付箋紙に書き出す。</p> <p>(2) 書いたことを出し合い、分類する。</p>
	グループ	<p>3. 自分の経験を思い出す。 【5分】</p> <p>○自分が、中学（高校）生の頃、親のかかわりで嬉しかったことや嫌だったことを出し合う</p>
	グループ 全体	<p>4. 親の役割3か条を考える。 【12分】</p> <p>(1) 「これだけは譲れない約束事」は何かについて考える。</p> <p>(2) 意見交換をし、グループで「親の役割3か条」をまとめる。</p> <p>(3) グループで考えたことを全体に紹介する。</p>
2分	全体	<p>5. まとめ 【2分】</p> <p>[ポイント]</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>子育て四訓として言われていることに、「乳児期はしっかり肌を離すな、幼児は肌を離せ手を離すな、少年は手を離せ目を離すな、青年は目を離せ心を離すな」と言われている。</p> <p>子どもの成長にともなって、親がかかわりすぎると子どもは、「嫌だな」と煙たがることもあるかもしれないが、親子（家庭）のルールでこれだけは譲れないという部分をしっかりとつことが大事。また、子どもがいくつになっても「愛としつけ」の両面を大事にしていくことが必要。</p> </div>

〔 活 動 〕

〔 基本的な説明・問いかけ例 〕

〔 備 考 〕

1. ねらいの
確認

○今日は、「親の役割3か条」をキーワードに講座を進めていきたいと思います。

・キーワードの提示。

2. 子どもの立場で考える

(付箋紙、ワークシート配付)

○まず初めに、子どもの立場になって、親とのかかわり方について考えてみたいと思います。「子どもにとってやってほしいかかわりとあまりやってほしくないかかわり」はどんなかかわり方だと思いか、思いつくだけ付箋紙に書いてください。付箋紙1枚には1つのことを書き、できるだけ具体的に書いてください。自分と子どものかかわり方のことを書いてもいいし、一般的に考えると〇〇だろうと思ったことを書かれてもいいです。3分間で思いつくだけ書いてください。

(しばらく待つ)

○次に、付箋紙に書いていただいたことをグループの皆さんに紹介しながら、子どもにとって、やってほしいかかわりかあまりやってほしくないかかわりなのかを考え、分類してください。

(しばらく待つ)

どうでしたか。分類した結果、どちらのかかわりの方が多く考えられましたか。

・具体的な例を示すと参加者は考えやすい。

・付箋紙は1人15枚程度配付するが、たくさん書く人もいるので予備も用意しておく。

・いくつかの例を使って分類の仕方の見本を示すと、参加者は、やり方を理解しやすい。

3. 自分の経験を思い出す

○これからは、自分の経験を思い出してほしいと思います。みなさんが、中学(高校)生の頃、親の関わりで嬉しかったことや嫌だったことがあったと思います。そのことを思い出していただいて、グループの方に紹介してください。嬉しかったことや嫌だったことのどちらでも結構ですので、話せる範囲で、紹介してください。

(しばらく待つ)

○どうでしたか。

グループの方の考えや意見を聞いて、「わかる」「同じ」など共感していただくことがあったと思います。

・活動の時間を知らせると参加者自身が活動の見通しが持てる。

4. 親の役割について考える

○最後に、「親の役割3か条」について考えてみたいと思います。その前に、子どもさんとの約束やお願い事で、「親としてこれだけは譲れない約束、お願い事」はありますか。グループの方に紹介してください。「今まで考えたこともなかった。」と言われる方もいらっしゃるかもしれません。その場合は、「〇〇を頼まれたら、多分『いいよ。』とは言わないだろう」と思うものを紹介してください。子どもが、中学生（高校生）の間は・・・という期間限定のものでもいいです。

（しばらく待つ）

○今紹介していただいたことも参考にしながら、グループで「親の役割3か条」を考えてください。

（しばらく待つ）

・譲れない約束を紹介する活動で、意見があまり出ていないようなときは、次の活動に時間をかけてもよい。

○グループで考えた「親の役割3か条」を紹介してください。3か条とも紹介してもいいですし、これがお薦めという1か条を紹介いただいてもいいです。

5. まとめ

○子育て四訓として言われていることに、「乳児期はしっかり肌を離すな、幼児は肌を離せ手を離すな、少年は手を離せ目を離すな、青年は目を離せ心を離すな」と言われています。子どもの成長にともなって、親がかかわりすぎると子どもは、「嫌だな。」と煙たがることもあるかもしれないが、親子（家庭）のルールでこれだけは譲れないという部分をしっかりとつことが大事です。また、子どもがいくつになっても「愛としつけ」の両面を大事にしていくことが必要です。

・進行役の子育て経験話や自分自身の体験（中学・高校の頃の親とのかかわりのこと）等をまとめた話としてもよい。

【親の役割3か条～親の目・子の目～：グループワークシート】

子どもにとってやってほしいかかわり



子どもにとってあまりやってほしくないかかわり



◇グループで考えた
親の役割3か条

